

酒井いくろう

無所属 37才

おはよう戸田
特別号 (No. 2)

市民が最優先。

前回、初当選させて頂いて以来、皆様から何百というご意見を頂いて議員活動を行ってきました。これからも、しがらみのない無所属の立場で、「政党や議員、利権を持った一部の人間」ではなく、「市民」の意思を反映するよう努めてまいります。



1期目の取り組み

- 税金のムダや埋蔵金を多数指摘
- 待機児童解消、乳幼児にやさしい図書室
- 小中一貫教育、給食の放射能問題
- シニア世代の活性化、障がい者の雇用
- 駅前喫煙所の分煙化、歩行者の安全
- 議員の出席手当、表彰制度の廃止

さらに進めます

- 税金のムダを一掃し、教育や福祉を手厚く
- 働く女性も出産・育児しやすい環境作り
- 小中一貫化で学力向上
- シニア世代も障がい者も生活しやすく
- 新産業育成で地元雇用と税収増を
- 議員特権の廃止、今度こそ！

【略歴】 ■ 東京大学医学部卒・大学院修了（医療政策） ■ マッキンゼー勤務（経営コンサルタント）
 ■ (株)ポピンズ勤務（保育、幼児・学童教育） ■ 戸田市内に会社を設立（医学教育）
 ■ 平成21年より、戸田市議会議員（1期目） ※初選挙より選挙カーを使わず政策本位で活動中。
 【趣味】 総合格闘技、娘（1才）を風呂に入れること

1期4年間の議員活動

議会活動

- 税金のムダ使いを多数指摘（下記、具体例）
- 地域包括支援センター（運営を民間委託に切り替え、年間数千万円のコスト削減が可能）
- 外郭団体の埋蔵金（5億円以上）
- 放置対策（自転車撤去1台あたり2万円以上のコスト。他市の約20倍）
- ほとんど使わない情報サービス購入に、年間100万円以上（→購入打ち切り済）
- 議員特権の廃止・見直しを主張（出席手当、表彰制度、海外派遣など）
- 子育て・教育環境
- 出産前後の運動プログラム（マタニティ・スイミングなど）
- 「乳幼児にやさしい」図書室
- 公立保育所の衛生的なおむつ処分（一部改善済）
- 小中一貫化による学力向上
- 給食の放射能問題（検査体制を整備済）
- シニア世代の活性化（スポーツサークルの支援やシルバー人材センターの活性化）
- 障がい者の自立支援（障がい者が勤務する花農園やカフェの新設のため活動）
- 自殺対策、交通事故死対策（実行中）
- 駅前喫煙所の分煙化を推進（改善済）
- その他、不況対策、新産業の育成、防災、福祉施設の運営内容について、歩きやすい歩道の整備、など。

【酒井の経歴】

問題意識のままに、医療政策からコンサルティング、保育、医学教育、そして現在は戸田市政に。その過程でこんなことを学んできました。

【大学・大学院】—医療政策の調査研究を実施。「誰もが安心できる医療の実現」を目指し、国全体の制度設計から市町村単位の地域医療体制まで、現場の検証と理論面の検討を重ねました。

【コンサルティング会社】—コンサルタントとして大組織のマネジメントに関する分析、アドバイジングの手法を体得。問題解決のプロとして、何としてもやり抜く粘りや根性が鍛えられたように思います。



海外研修にて（前列赤い服が酒井）。世界中の支社の社員が参加する中、英語力では劣るも、日本代表のつもりで積極的に発言しました。

議会外の活動

- 自由な立場を生かし、緊急キャンペーンを自主的に実施
- 震災直後で投票率大幅減が懸念された2011年県議選において「投票率向上キャンペーン」を実施。日経誌が「投票率を最大10%以上アップ」と紹介（下）。

現場から

戸田市議会議員 酒井 郁郎

4月10日の埼玉県議会議員選挙では、たった1人で投票を呼びかける運動を展開した。告示日の午前6時半から連日駅前で訴えたほか、チラシを配るポスティングを全戸に実施するなど体力の限界まで活動。その結果、埼玉県全体の投票率が前回に比べ4.2%低下する中、戸田市の投票率は0.6%アップの40.5%になった。特に、投票率が最低だった地区は6.4%上昇し、差し引き10.6%の押し上げ効果があったと見ている。チラシは投票の呼びかけだけでなく、事前に選挙管理委員会に問題が無いかも問い合わせた。

印刷費用などに自費で23万円を投じたきっかけは怒りだ。市の有力者が自分の応援する候補が当選するためには投票率が下がったほうがいいと発言しているを知り、「市民が投票を通じて議員を監視しないと、まともな議員と入れ代わり」と痛感した。投票率が最低の地区

国民運動で投票率アップそれが議会改革の第一歩

は新しいマンションが多いところ。地域への関心は低いが、「このエリアの投票率は市内最低レベルです」と、あえて挑発的な文言を入れたチラシを投票日前にまくまなく入れたら関心が高まった。

選挙管理委員会は自虐ムードに加え、予算削減で横断幕も減らしたほど。投票率向上の市民運動があるといいが、今は自分の選挙と重ならない地方議員がやるしかない。ポスティングは簡単で最も効果がある手法だと分かったので、議員を皮切りに国民運動に広がればと期待する。市民は議会に対してあきらめムードもあるが、まず選挙に行けば、次はちゃんとした人を選ぼうとする。露骨な妨害も受けたが、自分の票の振り起こしにもなると考えてまず始めてみてはどうだろうか。

- 震災直後、「たすけあい戸田」キャンペーンを実施。
- 市内自殺者数急増を受け、キャンペーンを自主的に実施。3月の自殺対策強化月間、9月の自殺予防週間に合わせた、駅頭活動を行いました。
- 地方政策のシンクタンク（研究機関）設立に参画。「NPO法人 域政策イノベーションフォーラム」として、現在活動中。戸田市の課題解決に、広く全国の知見を求めています。

- 【保育会社】—保育園の新設と運営を担当。
- 働く母親の思いや、仕事と子育てを両立するために保育園ができることを考え抜きました。
- 乳幼児期の環境が非常に大切であることに気づき、保育園の環境作りに徹底的にこだわりました。
- 保育の現場で働く方たちに、やりがいを持って働いてもらえるよう、常に頭を悩ませました。

- 【会社経営】—大学、専門学校、社会人向けの医学教育・進路指導業務。
- 新規事業や顧客の開拓のほか、クレーム対応や不良債権発生など経営課題に対処する過程で、中小企業を経営する大変さや人のありがたさが身にしみました。
- 会社全体で、これまでに数千人の学生の学業や受験、進路を指導。学生たちの悩みや、勉学を続ける上での問題を一緒に考えてきました。酒井は現在も大学において医療政策の講義を担当しています。

学生からもらった寄せ書き。若者の悩みに付き合うのは、自分にとって学ぶことが多いです。



酒井の重点政策

酒井は市議会議員1期目の4年間、市民の皆様から何百というご意見を頂き、多くの改善につなげてきました。しかしながら、生活の実感のこもった視点からの課題がまだまだ多いと感じます。今後は次のような政策の実現に向けて活動していきたいと考えています。皆様のご意見を頂けましたら大変有難いです。

税金のムダを一掃し、 教育や福祉を手厚く

500億円の借金と、全国の市町村で10番目の急激な高齢化。すぐそこに迫る「**税込減と福祉需要増**」に備え、借金圧縮と高コスト体質の改善を前倒ししたい。経営コンサルティング、企業経営を経験した酒井に、この難しくも重要な仕事をさせてください!



- **外郭団体改革。①整理削減 ②遊休資産(埋蔵金)の市への返還 ③役員ポストを原則公募に。**
- 「同じ顔ぶれ」審議会の統廃合により、開催費用を削減します。
- 市債残高を圧縮します。
- 事業評価の徹底と見直しのルールを作ります。
- **議員特権の廃止、今度こそ!**
- ①議員報酬額を独立した外部委員会に諮問します。

「自分の報酬額を自分で決める」現在の制度はどうみてもおかしい。市民から成る委員会に意見を求め、改善への第一歩としたい。



- ②費用弁償(議員報酬とは別の出席手当。現在は1日当り3,000円)を廃止します。
- ③経費(費用弁償)や個人視察・会派視察内容の外部監査の義務付け&ウェブ公開を行います。
- ④市長・市議会議員の永年勤続を、戸田市表彰の対象から除外します。
- ⑤海外友好都市への議員派遣のあり方を見直します。
- ⑥「**県内平均の約3倍**」衛生センター・競艇議会報酬を見直します。

戸田市の関連団体である「衛生センター」「競艇議会」の議員は、市議会議員が兼職しており、市議会議員報酬とは別に報酬が支払われています。

子どもの笑顔を増やします 「子育て支援」と「学力向上」

- **保育園、学童保育の待機児童を計画的に減らします。**
- **保育園の運営内容を改善します。**

たとえばこんなこと 公立保育園の「使用済みおむつ(排せつ物が付着)の持ち帰り」方式を廃止し、衛生的な園での処分に切り替えます。働きながらの子育ては想像以上に苦労が多い。少しでも両立しやすくなるよう当事者の視点に立った支援を行います。(公立園の投棄や歯磨きも未実施。実施を求めていきます)



酒井いくろう【Eメール】 ikuro.sakai@gmail.com

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田 4-2-27-801

TEL/FAX: 048-432-9168

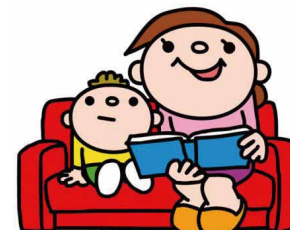
質の高い議員活動のためには、皆様からのご意見が必要です。どのようなことでもぜひご一報下さい。



チラシ内容の詳細はこちらです
↓↓↓
酒井郁郎ウェブサイト
<http://sakai.sub.jp/>

- マタニティ・産後回復期のスイミングやヨガなど子連れで参加できるプログラムを、スポーツセンターや民間ジムで実施します。
- 幼いころから本に親しみやすい環境を作ります。図書館を乳幼児にも利用しやすくする他、室内広場や公民館にも読み聞かせができる絵本コーナーを整備。
- 親子で楽しめる遊び場を増やします。乳幼児にも遊びやすい公園や、土日も利用できる室内広場、粘土遊びやボールプール、ダンボール遊び、ペイント遊び、木のおもちゃなど豪快に遊べるプレイセンターを整備。

酒井の師、前恵庭市長・中島興世氏直伝の政策。氏は読書環境の整備や、日本初のプレイセンター設置を実現。学力の大幅な向上やいじめの一掃、若い父母の地域参加などの効果をもたらしました。



- **小中一貫化を実現し、学力向上につなげます。**
- 民間学童保育の設置を促し、多様な保育内容を実現します。(時間・年齢の拡大、学習・習いごとの導入など)

ご意見をお寄せ下さい! 皆様の声にきちんと応えます

- **新産業を育成し、地元雇用と税込増につなげます。**
- 市民にやさしい役所に。手続きの簡略化や窓口の一本化を実施します。
- 市役所人事を実力本位の評価制度に変革します。

年をとっても、障がいがあっても 普通に暮らせる町

- **シニア世代のスポーツを活性化します。様々な種類のシニアサークルの結成・運営をサポート。**
- 市の行う健診や検査補助のメニューを検証し、病気の早期発見・早期治療を促します。
- **転倒骨折の予防に努めます。道路や家庭内に段差をなくす「バリアフリー」化を推進。**



仲の良い祖母が転倒骨折により入院。高齢者にとっては人生を一変させる重大事であることを痛感しました。防止のために行政ができることは何でもすべき、と思います。

最近の祖母と私→



- 新人市職員を地域連絡員として各地区に配置し、独居シニア世帯の孤立防止に当たります。また、買い物困難への支援の方法を研究します。
- シルバー人材センターの活性化やシルバー起業の支援などにより、福祉・保育・社会貢献などにもシニア世代の経験を生かします。
- 障がい者本人とご家族の意思を尊重しつつ、雇用拡大や自立支援を行います。
- 障がい児・発達障がい児への支援員を拡充します。